

Aさんは、ステップ1でひと通りプログラムに参加したあと、ステップ2で5社の企業実習を行いました。アルバイト経験もなく就労へのイメージが持てなかったAさんでしたが、プログラムでのたたくさんの経験と企業実習で就労イメージが少しずつ広がったようです。また、当初から課題であった時間管理や遅刻の対策については、家族の協力と[生活記録票](#)による

意識づけで少しずつ変化していき、定期面談では遅刻等の課題を支援者が過度に押し付けず、Aさんとの関係性を築きながら共同して取り組むことで少しずつ効果が現れてきたように思います。ただ、遅刻が完全になくなったわけではなく、[個別支援計画書](#)を確認するための三者懇談（ご家族含む）を定期的を実施する中で、当初は拒んでいた「起床時に親に声かけしてもらうこと」に対してAさんなり少しずつサポートの必要性を感じ、自分なりに意識しつつも家族のサポートも取り入れながら取り組めるようになりました。

3. 企業の概要

B社は、化学メーカーとして多角的に事業展開をされている会社です。障害者雇用にも前向きに取り組まれており、当事業所専任の企業開拓員によってご縁をいただきました。図の「環境面」にもあるとおり、職場はとても和やかな雰囲気、障害者雇用としてはすでに数名の障害のある方が働いておられ、周囲の社員の方々は個々の障害等の状況に合わせたサポートの必要性を柔軟に考えておられ、とても働きやすい環境です。

B社へは、企業開拓員とAさんの担当者で訪問させていただき、企業の事情をお聞きする中で具体的な業務内容や業務の要求水準、Aさんの特性等についてご相談させていただきました。B社としては営業管理部を受け入れ先と想定されており、事務職（パソコンでのデータ入力等）として採用を検討していただくこととなりました。

ASDのある人と職場をつなぐ ジョブジョイントおおさか

Aさんのアセスメントと訓練の効果

職業的課題	
<ul style="list-style-type: none"> 遅刻が多く、起床から起床まで時間管理がうまくできない 自発的に取り組む。受け付けや遅刻が多い 報連相ができず、結果的に自己判断で進めてしまう 	<ul style="list-style-type: none"> アルバイト経験もなく、就労へのイメージが全くない 得意な手があるが、仕事理解等の自己理解も不十分 表情が乏しく、周囲を惹きつけた言動が苦手
所内プログラムの様子	企業実習の様子
<ul style="list-style-type: none"> 遅刻は、改善に向けて色々と取り組んだが、実行機能的な面でもあって時間が経過した行動が苦手な様子であった 遅刻やトラブルの頻発がなくなり、急に改善することもあった トラブルやオフィスワークなど、作業課題が明確であることと理解をスムーズで継続的に取り組むことができた 指示は口頭でも理解は深まる 手帳での記録もある程度理解できたが、実際に作業しながら覚えていくスタイルが理解しやすい 作業で不明な点があったときは、質問することなく自己判断で作業を進めていく 異動の準備が方法とタイミングがわからず自己判断する場面もある 講座やグループワークなどで意味ある質問があることと答えられることができた 	<ul style="list-style-type: none"> (1)株式会社A社（10日間） <ul style="list-style-type: none"> 業務内容：手書きの書類シフトをエクセルに入力 企業より：正確性の高い入力力が高く評価して頂いた (2)株式会社B社（8日間） <ul style="list-style-type: none"> 業務内容：名刺のデータ入力と整理 企業より：集中力、作業の精度とスピードを評価 (3)株式会社C社（23日間） <ul style="list-style-type: none"> 業務内容：倉庫シフト（衛生食料）の入力 企業より：役割期間に沿って責任感を持って業務できた (4) NPO法人D（12日間） <ul style="list-style-type: none"> 業務内容：300円以内の企業リストアップ（1,000件） 企業より：集中とスピードを高く評価 <p><総評> 実習は作業課題が明確なため、集中力高くミスなく正確に取り組めた。そこが強みであると評価された。</p>
就労移行支援プログラムの効果	
<ul style="list-style-type: none"> 生活記録票をつけ、少しずつ時間を管理できてきた 個別目標と定期面談で取り組みむことに共通しが持てた 定期面談でAさんと少しずつ関係性ができていった 	<ul style="list-style-type: none"> 多種多様な作業でイメージが少しずつ広がってきた 作業や講座、余暇等の様々な経験が特性理解につながった 企業実習で働くイメージと達成感を覚えることができた

Copyright © JobJointOsaka. All Rights Reserved

ASDのある人と職場をつなぐ ジョブジョイントおおさか

企業の概要

概要	B社 昭和27年	従業員数	1134人
設立			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 家庭用及び業務用洗剤・消毒剤・うがい薬等の衛生用品と薬液供給機器等の開発・製造・販売 装置衛生・環境衛生のコンサルティング 装置等の開発・製造・販売 		
障害者雇用	<ul style="list-style-type: none"> 会社全体として、障がい者雇用にも前向きに取り組んでおられる Aさんの他にも障害のある方が数名（身体、精神、発達など）同じフロアで働いている 一人ひとりを大切にしておられ、個別的に配慮しながらできる所を任せているよう仕事の分担を越え、取り組んでおられる 		
環境面	<ul style="list-style-type: none"> 事務職 主にパソコンを使ったデータ入力を担当 雇用形態は、パート 勤務時間は、9:30～16:30 		
業務内容 労働条件	<ul style="list-style-type: none"> <人的環境> <ul style="list-style-type: none"> 社員の入れ替わりはあまりない様子 30分～5分までパワースタップが求められる 指示は、キーパーソン（営業管理部リーダー）が出していただく 担当者と同じ部屋におられることが多く、分からないことはすぐに質問できる <その他> <ul style="list-style-type: none"> 基本的には自分に任された仕事を黙々とこなす雰囲気 特々社員さん同士で雑談をされており、和やかな雰囲気 <物的環境> <ul style="list-style-type: none"> 隣等から徒歩5分 フロアがAに約20名が働いている 机の机が3つに分かれており、自分の机が与えられており、その中で作業を進めていく 事務所内の連絡が近く、移動しやすい 大きな通路沿いにあり少し騒音はある 特々電話がなかったり、社員さん同士で話せることはある。しかし部屋が広いのであまり気にならない 空調が効いており、過ごしやすい 		
環境、雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> 職場はとても和やかな雰囲気、障害者雇用としてはすでに数名の障害のある方が働いておられ、周囲の社員の方々は個々の障害等の状況に合わせたサポートの必要性を柔軟に考えておられ、とても働きやすい環境です。 		

Copyright © JobJointOsaka. All Rights Reserved

4. ジョブマッチング

まずは、職場実習として実際の仕事を10日間従事させていただきました。実習では、パソコンでのデータ入力をコツコツと集中力高く取り組むことができ、入力の精度も高くミスなく取り組めたことから、Aさんの持つハードスキルについて企業から一定の評価をいただくことができました。Aさんも業務内容が分かりやすく働きやすい環境であったことから就労を希望され、その後は面接を経てトライアル雇用、常用雇用へと移行していただいています。

ジョブマッチングにおいては、企業が事務職に必要と考える業務レベル（要求水準）がAさんの持つハードスキルと合致していたこと、業務内容や指示内容においてAさんが理解できるレベルであったこと、遅刻への対策として朝の出勤時間が遅いことがAさんにとってよい条件であったこと、そして、何よりもAさんの口数が少なく少々愛想のない落ち着いたキャラクターを職場の皆さんがとても気に入ってくださったことが決め手となりました。

ASDのある人と職場をつなぐ ジョブジョイントおおさか	
<h3>職場実習からジョブマッチングへ</h3>	
職場実習	実習時間：10:00～15:00、10日間 業務内容：パソコンでのデータ入力 ①部門ごとのお密着データに郵便番号を入力 ②一覧表を按て、商品コードをデータ入力 ③送付状に記録された番号をデータ入力
実習の概要	
Aさんの様子	<ul style="list-style-type: none">集中が途切れることなく、淡々と取り組むことができた一連業務を説明して早くも、概ね理解できていた分からないことは自分から聞くことができていたご本人のキャラクターを職場の方が気に入っていただいていた
ジョブマッチング	
Aさん	企業
<ul style="list-style-type: none">パソコンのデータ入力に得意集中力が高く長時間同じ作業をすることが得意物事を体系的に考えることが得意で仕様が合わないことはすぐ気づく数社の実習を通して事務職に向いていることを自分なりに整理できていた遅刻が多いこととフルタイム働ける体力に自信がないため、1日6時間程度の勤務を希望	<ul style="list-style-type: none">事務職のできる人を希望していた中でもパソコンでのデータ入力に得意な人を探していた自分である程度考えて業務を進められる人を希望同じ作業をコツコツと取り組める人を探していた勤務時間は、朝が少し遅めの9:30～16:30の勤務を想定
<small>Copyright © JobJointOsaka. All Rights Reserved</small>	

5. 定着支援

採用当初のトライアル雇用中は、2週間に1回程度面談を実施して仕事の状況や困っていることがないか、生活リズムや遅刻等についてAさんと確認していきました。面談前には職場の方に面談で確認すること、話題にすべきことはないかお聞きし、面談後には話した内容を担当者にご報告するなど企業と日々連携しながら状況把握に努めていきました。遅刻はトライアル雇用時から心配なことではありましたが、ご家族のサポートもあって遅刻せずに出社することができています。

職場では、Aさんに日報を書いてもらっており、困ったことがあれば日報に記入して職場の担当者と共有、相談することもできています。また、ご本人の困った様子が見られると職場の担当者から適宜声を掛けていただいております、ナチュラルサポートとして自然な形で周囲の方々にご配慮をいただいております。

6. まとめ

今回の事例では、図の「まとめ」の通り3つのポイントが考えられます。

ひとつは「特性理解とニーズ」で、発達障害は「見えない障害」と言われるように障害の

特性が分かりづらく、周囲環境との相互作用によって特性は良くも悪くも大きく変化します。表面化している特性と潜在的な特性は、多面的にアセスメント・行動観察をして正しい特性理解に努め、[アセスメント情報をまとめていく](#)ことが重要です。また、Aさんのニーズ（想いや願い）も大切な視点となるため、職業的課題を押し付けることなくAさんなりの納得感も大切にしつつ、支援者と共同で取り組んでいったことが正確なアセスメントになり、信頼関係の構築にもつながりました。

「たくさんの経験」では、想像力の特性から見えないことや未経験なことをイメージすることが難しいため、たくさんの経験ができる機会を提供したことでAさんなりの就労イメージが少しずつ広がっていきました。そこには、成功体験や達成感が得られていたことも大きく、支援者もたくさんの行動観察ができたことでAさんの職業スキルや障害特性等を多面的に知ることができました。

発達障害のある人は、現実と理想にギャップがあることが多く、Aさんのように就労イメージが持てずに得意なことや苦手なこと、障害特性の理解等、自己理解が不十分なことも少なくはありません。自己理解支援を実施していくには、ご本人にとって無理なくたくさんの経験をすることが必要で、その中で自分なりの気づきが少しずつ生まれていきます。そのためにも、たくさんの経験ができる支援を提供することは大切なポイントとなります。

最後の「環境面との相性」においては、Aさんと職場の雰囲気がとてもマッチしていて、職場の皆さんがAさんのキャラクターを好いてくださっていることがポイントとして考えられます。周囲環境との相互作用によって障害特性が変化する分、Aさんらしさを肯定的に受け入れてくださっているB社の職場環境は、Aさんにとってとても働きやすい職場であると感じます。企業の要求水準とAさんのハードスキルの合致もジョブマッチングとして重要なポイントではありましたが、環境面との相性がジョブマッチングをより強固なものにしているのだと思います。

就労支援は、障害のある方がただ単に就職することを支援するだけでなく、ご本人が自分らしくイキイキと働き、戦力として活躍できるよう支援することが重要です。そこには、障害のある方と企業の双方について正確にアセスメントすることが大切であり、正確なアセスメントあつての最適な組み合わせ（ジョブマッチング）となります。周囲環境との相性も加味しつつ、本人らしく働くことを忘れずに就労支援を進めていきたいものです。

ASDのある人と職場をつなぐジョブジョイントおおさか

まとめ

- 特性理解とニーズ**
 - 受け身で自発的な発言も少なく障害特性が見えづらかったが、時間をかけて面談・行動観察の中で特性をアセスメント
 - Aさんの気持ちを大切に、職業的な課題を押し付けず、「ニーズベース」で「納得感」のある支援計画を実施
- たくさんの経験**
 - たくさんの経験を積んだことでAさんのニーズが変化し、少しずつ自己理解につながっていった
 - 絶対に必要なソフトスキル（コミュニケーションや振る舞い等）は、実習等の実体験で必要性の実感と意識付けを行った
 - 最低限必要なことから少しずつ取り組んだことがAさんにとって押し付けとならず前向きに無理なく取り組めた
 - たくさんの経験ができるプログラムを提供したことで、支援者はAさんのことを多面的にアセスメントすることができた
- 環境面との相性**
 - Aさんの持つ雰囲気と職場の環境面や雰囲気とうまく合致し、より良いジョブマッチングにつながった
 - Aさんのちょっぴり独特なキャラクターを職場の方がとても気に入り入ってくれた
 - そのために、Aさんはとてもしイキイキと働かせてもらえている

Copyright © JobJointOsaka. All Rights Reserved